# 議会運営委員会

日 時 平成27年2月23日(月) 午前10時~

場 所 第3委員会室

- 1 平成27年3月亀岡市議会定例会について
  - (1) 招集告示 2月23日(月) 告示第15号
  - (2) 開 会 3月 2日(月)
- 2 3月定例会提出議案の概要説明
  - (1) 概要 ...... 別添
- 3 3月定例会日程案 【別紙 NO.1】
  - (1) 一般質問通告期限 3月 2日(月)正午
  - (2) 請願書提出期限 3月 2日(月)午後5時
  - (3) 質疑通告期限(当初提案議案分)

3月11日(水)一般質問終了時

- (4) 討論通告(3月16日採決分) 3月13日(金)常任委員会終了時
- (5) 意見書等提出期限 3月23日(月)正午
- (6) 討論通告(閉会日採決分)3月24日(火)午後4時
- 4 開会日(3月2日)本会議議事日程について
  - (1) 議事日程

諸報告(監查、理事者出席要求)

- 第1 会議録署名議員指名(酒井議員、小川議員)
- 第2 会期決定
- 第3 第1号議案から第60号議案まで(提案理由説明) 施政方針演説
- 第4 議第1号議案

- 5 議第1号議案について
  - (1) 委員会条例の一部改正【別紙 NO.2】
  - (2) 発議者
  - (3) 審議
    - ・提案 2日(月)開会日 提案理由説明・質疑・付託を省略
    - ・議決 25日(水)閉会日
- 6 一般質問について
  - (1) 質問時間について
  - < 3 月定例会 >

質問配分時間(答弁時間含まず)

< 先例 >

代表質問 1会派 40分

個人質問 1人20分会派に割り当て(1人30分上限)

会派順及び個人質問会派配分時間

新清流会	(8人)		分
共産党議員団	(3人)		分
緑風会	(3人)		分
公明党議員団	(2人)		分
会派に属さない	\議員	各	分

< 3月以外の定例会>

質問配分時間(答弁時間含む)

< 先例 >

個人質問 1人45分

(2) 一般質問日程

10日(火)代表質問

11(水)~13日(金) 個人質問

質問者数 17 人以下の場合は 11・12 日のみ

- (3) 一般質問通告書について○記入について【別紙 NO.3】会派内調整(重複等)
- 7 3.11 黙祷について3月11日(水)午後2時46分 東日本大震災被災者追悼 (一般質問2日目)
- 8 予算審査について
  - (1) 審査体制
    - 委員会
    - ・設置日 3月12日(木)又は13日(金)一般質問終了後
    - ・委員数
    - ・委員選出(特別委員会の場合) 会派割当て人数

新清流会 (11人) 人 共産党議員団(4人) 人 緑風会 (4人) 人 公明党議員団(3人) 人 会派に属さない議員(2人) 人

委員選出届期限 3月2日(月)午後5時

- (2) 審査
  - ・審査・日程案【別紙 4】
  - ・審査資料「施策の概要」2月26日配付予定
- 9 市民憲章の唱和について

- 10 陳情・要望について
  - (1) 41 老人医療費助成制度 老の維持、拡充に関する陳情書【別紙 5】
  - (2) 地球社会建設決議に関する陳情書(議長供覧)
- 11 議案の提出について
  - ○提出者と賛成者数について【別紙 6】
- 12 6月定例会日程案について

会期 6月8日(月)~25日(木)

一般質問 6月18日(木)・19日(金)・22日(月)

常任委員会 6月23日(火)<同時開催>

- 13 その他
  - 議場内撮影許可申請
  - ・本日の会議予定

議運終了後 幹事会

14:00~ 会派会議

15:30~ 広報広聴会議

# 平成27年3月亀岡市議会定例会日程(案) <sup>会期:24日間</sup>

			<u> </u>
日	曜日	会 議 等	備考
2/23	月	定例会招集告示、議運	幹事会、会派会議
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
3/1	日		
2	月	定例会開会 <一般質問通告期限:12:00、請願書提出期限:1	7:00>
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		一般質問
8	日		順序
9	月		未定
10	火	一般質問(代表)	
11	水	一般質問(個人)、議運 <質疑通告期限:一般質問終了時>	幹事会
12	木	一般質問(個人)	
13	金	一般質問(個人)予備日、本会議(追加議案提案 予算特別委員会 、3常任委員会 <討論通	) 告期限:委員会終了時>
14	土		
15	日		
16	月	3 常任委員会、議運 本会議(補正予算採決)	幹事会、会派会議
17	火	予算特別委員会	
18	水	予算特別委員会	
1 9	木	予算特別委員会	
2 0	金	予算特別委員会	
2 1	祝土	春分の日	
2 2	日		
2 3	月	予算特別委員会 < 意見書提出期限: 12:00>	>
2 4	火	委員会予備日、議運<討論通告期限:16:00>	幹事会、会派会議
2 5	水	予算特別委員会、常任委員会、議運、定例会閉会	幹事会、会派会議
P			

一般質問が3日間の場合:12日(木)一般質問終了後、本会議(追加議案提案)及び予算特別委員会

#### 議第1号議案

亀岡市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

亀岡市議会委員会条例(昭和48年亀岡市条例第43号)の一部を 改正する条例を次のように制定するものとする。

亀岡市議会委員会条例の一部を改正する条例

亀岡市議会委員会条例(昭和48年亀岡市条例第43号)の一部を次のように改正する。

第20条中「教育委員会の委員長」を「教育委員会の教育長」に 改める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。
  - (旧教育長に関する経過措置)
- 2 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する 法律(平成26年法律第76号)附則第2条第1項に規定する旧 教育長が同項の規定により在職する場合においては、この条例に よる改正後の亀岡市議会委員会条例の規定にかかわらず、なお従 前の例による。

# 亀岡市議会委員会条例(昭和48年亀岡市条例第43号)新旧対照表

現行	改正後(案)
(出席説明の要求)	(出席説明の要求)
第20条 委員会は、審査又は調査のため、市長、教育委員会の委員長、	第20条 委員会は、審査又は調査のため、市長、 <u>教育委員会の教育長</u> 、
選挙管理委員会の委員長、公平委員会の委員長、農業委員会の会長及	選挙管理委員会の委員長、公平委員会の委員長、農業委員会の会長及
び監査委員その他法律に基づく委員会の代表者又は委員並びにその委	び監査委員その他法律に基づく委員会の代表者又は委員並びにその委
任又は嘱託を受けた者に対し、説明のため出席を求めようとするとき	任又は嘱託を受けた者に対し、説明のため出席を求めようとするとき
は、議長を経てしなければならない。	は、議長を経てしなければならない。

# 亀岡市議会議員

# 平成 年 月定例会 一般質問通告書

<u>会派名:</u> (代表・個人) 質問方法( - 括 ・ 一問一答 )

次のとおり通告します。

質問事項	質問要旨	答弁者
1 について		
	(1)	
	(2)	
	(3)	
2 につ いて		
	(1)	
	(2)	
3 につ いて		
	(1)	
	(2)	
	(3)	

樣

## 亀岡市議会議員

# 平成27年3月定例会 一般質問通告書

会派名: (代表・個人) 質問方法( - 括 ・ 一問一答 ) 次のとおり通告します。

#### 体裁

- ·字体:MSゴシック・フォントサイズ10
- ・全角英数字
- ・表のサイズを変えない。
- ・ページがまたがる場合は表を分割しない。

質問事項	質問要旨	答弁者	
1 空き家の適正 管理について	空き家の放置は、近隣の生活環境を阻害し、不審者の侵入や放火などを誘発する恐れもある。また、災害時に倒壊する危険や住民の避難活動の妨げにもなりかねない。生活環境の保全、災害時の安全確保、犯罪の未然防止の観点から空き家の適正管理が求められる。(1)空き家の調査をどのような頻度で行い、市内に長期間放置された空き家がどれくらい存在するか把握しているか。 (2)管理不十分な空き家は近隣住民にとって危険な箇所と認識しているか。 (3)空き家の所有者に対してどのような呼びかけ、連絡を行っているのか。 (4)空き家の管理や処分を行う条例を制定する考えはあるか。	市長部を一番を一番を一部である。またのでは、一部である。またのでは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	<u>.</u>
2 いて 項目番号・スペ ース・「~につ いて」等	(1) (2) <u>質問事項に係る趣旨(課題や問題点</u> 簡潔に記入し、質問を(1)~の箇		

質問の順序は、原則、組織機構の 建制順とするが、質問構成の意図 による順序立ても可とする。

## <建制順>

政策推進室・企画管理部・生涯学習部・総務部・環境市民部・健康福祉部・産業観光部・まちづくり推進部・会計管理室・上下水道部・市立病院・教育委員会・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・農業委員会等

<u>間潔に記入し、質問を(1)~の固条書きで具体的に</u> 載する。

# 留意点(先例・申合せ118)

- ・質問項目は、細分化し具体的に記載すること。
- ・質問項目は、市政における一般事務の範囲内であること。
- ・質問項目は、会派内で重複しないこと。

< H 2 7.3 > 予算特別委員会審査日程(案)

日	予定時刻	項目
[1]	10:00	あいさつ
3月17日(火)	10:10	審査 (執行部説明、質疑、委員間討議)
【2】 3月18日(水)	10:00 ~	II
[3]	10:00 ~	審査 (執行部説明、質疑、委員間討議)
3月19日(木)	16:45 ~	現地視察検討
	10:00 ~	審査 (執行部説明、質疑、委員間討議)
【4】 3月20日(金)	13:00 ~	市長質疑項目決定·討議
	(15:00 ~ )	(現地視察)
	10:00	市長質疑
【5】 3月23日(月)	13:00	会派会議
	14:00	討論·採決

<sup>・</sup>市長質疑項目の執行機関送付は3月20日(金)15:00の予定

# 議案の提出について

# <最小必要人数>

	定数改正前	定数改正後
議案区分	提出者 + 賛成者	提出者 + 賛成者
団体意思	3 人	2 人
機関意思	3 人	3 人

# 団体意思の決定を求める議案(条例、修正)

- <地方自治法第 112 条> 普通地方公共団体の議会の議員は、議会の議決すべき事件につき、議会に議案を提出することができる。但し、予算については、この限りでない。
- 2 前項の規定により議案を提出するに当たっては、議員の<u>定数の 12 分の 1</u> 以上の者の賛成がなければならない。
- 3 省略

賛成者に提出者を含む(定数×1/12以上)

#### 機関意思の決定を求める議案(意見書、決議)

<会議規則第14条> 議員が議案を提出しようとするときは、その案を備え、理由を付け、法第112条第2項の規定によるものについては所定の賛成者とともに連署し、その他のものについては2人以上の賛成者とともに連署して、議長に提出しなければならない。

提出者(1人以上)+賛成者(2人以上)

# 【参考】平成11年地方治法改正(H12.4施行)

団体意思決定議案の提出要件 8分の1 12分の1

< 改正の趣旨 >

地方分権推進委員会第2次勧告(H9.7.8)を受け、<u>地方議会の活性</u> 化を目指し議会機能の強化を図るため、議案提出要件を緩和

# 改正案

# 【1案】改正しない

議案区分	提出者 + 賛成者
団体意思	2 人
機関意思	3 人

## <注意>

法的拘束力を持つ団体意思決定議案より、機関意思決定議案の方が 提出要件が重いのは適当でない。(「議会運営の実際1」野村稔著)

# 【2案】定数改正前と同じにする

議案区分	提出者 + 賛成者
団体意思	3 人
機関意思	3 人

#### <注意>

法的には団体意思決定議案は2人であり、3人とする法的な整理はできず申合せとなる。前記自治法改正の趣旨からの検討も必要である。

# 【3案】改正する

議案区分	提出者 + 賛成者
団体意思	2 人
機関意思	2 人

#### <注意>

提案の乱発につながることもある。会議規則の改正が必要。